

情報公開文書（オプトアウト）

2026年3月18日 第1版

山口県立総合医療センター臨床工学部では、臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、院長の許可のもとで、以下の研究を実施しております。研究の対象となる方（または代理人）で、この研究について詳しくお知りになりたい場合、またはご自身の情報が研究に利用されることを望まれない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。（ご連絡をいただいた時点以降、研究に使用する情報の提供を停止します。ただし、すでに解析が完了している場合や学会・論文等で公表済みの場合は、データを取り除くことができないことがあります。）

【研究名称】

大規模言語モデルを用いた心臓カテーテルアブレーション手技におけるマッピングシステムの動作状況検知・対応支援の有用性評価

【研究の実施体制】

山口県立総合医療センター

研究責任者：臨床工学部 宗像 大輔 電話：0835-22-4411（代表）

研究分担者：循環器内科 上山 剛

臨床工学部 杉田 翔哉

研究協力者：循環器内科 池田 安宏

【研究の概要】

●目的：心臓カテーテルアブレーション手技中に発生する3Dマッピングシステム等の技術的事象は、手技遅延や中断の原因となり、患者および医療者の負担につながります。本研究では、過去の診療記録・機器ログ・画面キャプチャ等を後ろ向きに解析し、技術的事象の発生状況・種類・対応時間等を調査します。さらに、画像解析によるシステムメッセージの自動認識および取扱説明書や施設内の過去事例（院内ナレッジ）を検索して解決手順の候補を提示する支援システムの構築可能性を検討し、既存データに対する認識精度および提示内容の妥当性を後ろ向きに評価します。

●研究期間：臨床研究倫理審査承認後～2031年12月31日

●研究対象とする期間：2026年4月1日～2030年3月31日

●対象となる方：山口県立総合医療センター循環器内科にて、2026年4月1日から2030年3月31日の間に3Dマッピングシステム等を用いた心臓カテーテルアブレーションを受けた患者

●研究に利用する試料、情報等について

本研究で用いる生体試料（採血等）はありません。診療録および機器等により取得される下記の情報を研究に利用します。

- (1) 患者背景（必要最小限）：性別、年齢、不整脈の種類、主要な併存疾患、主要内服（抗凝固療法等）
- (2) 手技関連情報：手技日、手技種別、使用機器、手技時間、透視時間、放射線被曝指標（取得可能な範囲）
- (3) 機器動作記録：事象発生時刻、事象種別（コード／文言）、解決時刻、対応内容
- (4) 画像解析ログ：認識結果、提示した解決策（参照元を含む）、提示までの所要時間、操作ログ
- (5) 画面情報：マッピングシステム画面のキャプチャ画像／動画（必要最小限）

●個人情報の取扱い

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、患者ID等の個人を直接特定できる情報を削除し、研究用IDを付与して管理します。画面キャプチャに個人情報が表示される可能性がある場合は、撮影範囲の限定やマスキング（黒塗り）等により、個人が特定されないようにします。研究データは外部ネットワークから遮断された端末（スタンドアローンPC）で管理し、研究責任者がアクセス権限を管理します。研究成果を学会や論文等で発表する際も、個人が特定できる情報は使用しません。

●情報の保管及び廃棄の方法

電子データは、アクセス制御された端末または暗号化した記録媒体に保存し、研究責任者が

管理します。紙媒体がある場合は、鍵のかかった保管庫に保管します。研究終了後5年間保管し、保存期間終了後は、電子データは復元不能な方法で消去し、紙媒体はシュレッダー等で廃棄します。

●臨床研究を実施することにより期待される利益及び不利益

本研究は、過去の診療の過程で得られた既存情報を後ろ向きに解析する研究であり、研究対象者に新たな侵襲や追加の負担は一切生じません。研究の成果は、将来的に手技の安全性・効率性向上や医療者の負担軽減に役立つ可能性があります。

●問い合わせ先（対応時間：平日9：00～17：00）

山口県立総合医療センター

研究責任者：臨床工学部 宗像 大輔 電話：0835-22-4411（代表）

研究分担者：循環器内科 上山 剛